

双葉地域の中核的病院のコンセプト

資料1

双葉地域の医療提供体制の現状

令和4年11月4日
福島県病院局

- 東日本大震災及び原子力災害の影響により、双葉地域の医療機関の約7割が休止している。
- 双葉地域で提供できていない医療については、いわき市や相馬地域、中通りの医療機関に依存している。

地域に密着し、連携の核となる病院

住民、企業、行政、医療機関、地域包括支援センター、介護施設等との連携の核となる「ハブ機能」を有し、様々な主体と一体となって地域に密着した切れ目のない医療を提供し、双葉地域の3つの安心を共に支える。

背景

避難指示の解除

移住・定住の推進

まちづくりの推進

工業団地の整備

復興ツーリズム・ホープツーリズム

福島イノベーション・コースト構想の推進

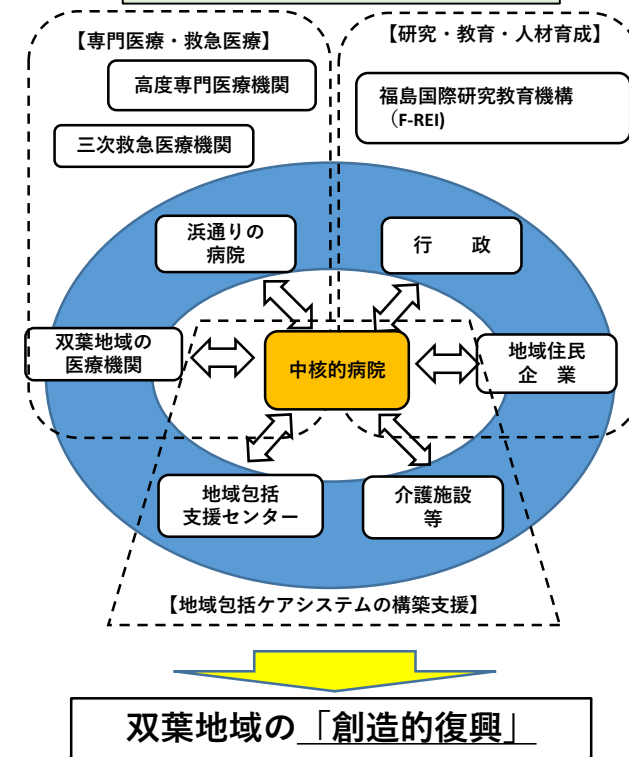
双葉地域 3つの安心

住民生活 居住、帰還、移住する住民が安心して生活できる

企業活動 企業や団体、機関等が安心して進出できる

観光交流 観光やスポーツ等で安心して訪れることができる

コンセプトイメージ



地域の発展に貢献し、医療従事者に魅力ある病院

福島国際研究教育機構 (F-REI)との連携を視野に、地域の発展に貢献する。また、充実した研究環境や教育・人材育成プログラムにより医療従事者に魅力ある病院を目指す。